

であいこうか

絵で表現する
言葉や形にできないこと
の
野田 幸江さん



野田さんは、水口町のご自宅のアトリエで、主に風景画の創作活動に励まれており、近江八幡市で開催される「BIWAKO ビエンナーレ」に2004年から出展しておられます。(来年も出展予定)

◆いつ頃絵を始められたのですか？

小さい時から、美術の本に載っている絵を見るのが好きで、その世界に入り込んでいました。だから、自然とノートや教科書の端にちよつとした絵を描いていたりで、きっかけではないですが、それが始まりですね。短大で美術を学ぶ機会があったのですが、絵の技術というものはほとんど習っていないので、独学で描いています。

◆どういうものを描かれているのですか？

風景画です。けれど、この絵は現実の風景を写生しているだけではなく、人の生きるということについて、自分の心の中を表現したいと思っています。皆さんと共有できそうなことを探しながら、言葉にも、形にもできない、そういう感情を多くの方々に共感してもらおう一つの手段だと思っています。

◆絵を通じた活動も？

子どもたちや、マキノ町の福祉施設で利用者さんとのワークショップをしました。「こういうもの」という押しつけではなく、自由に発想して、想いをぶつけてもらえるような時を過ごしてもらえるようにしています。みんなすごく楽しそうに、そしてびっくりするような発想を見せてもらえるので、私も毎回良い刺激をいただいています。

その他にも、地域で創作活動を依頼されることがあります。営農倉庫に壁画を描いたり、かもしか荘には廊下と各部屋に絵を展示していただいたりして、地域の皆さんにご覧いただいています。

◆今後の活動についてお聞かせください。

このまま絵を通して「人の生きているということ」を描き続け、そして、より多くの人に絵を見ていただき、共感していただきたいなと思います。また、共感していただいた皆さんとお話しできる機会が作ればおもしろいですね。



▲野田さんと壁画

車いすでバスケットボールを

車いすバスケットボール体験教室

代表的な橋口勇喜選手を含む車いすバスケットボールのクラブチームに所属する4人の選手をコーチに迎え、ルール解説から専用車いすの操作についてまで指導があり、最後は選手を交えてのミニゲームを楽しみました。

児童らは、初めての競技用車いすの扱いや、座ったままのシュートなどいつもとは違った感覚のバスケットボールに最初は戸惑っていましたが、選手たちの助けによって徐々にこのスポーツを楽しめるようになり、最後は全員がプレーに夢中になっていました。



▲地元出身の橋口選手(背番号2)が母校に凱旋

車いすバスケットボール体験教室が11月11日、希望ヶ丘小学校体育館で行われ、5年生85人が参加しました。

この教室には、地元希望ヶ丘出身で「アジアユースパラ競技大会マレーシア2013」日本代表の橋口選手(背番号2)が母校に凱旋し、コーチを務めました。

全国から勇壮な伝統花火が甲賀に集結

第14回全国伝統花火サミット in 甲賀

第14回全国伝統花火サミット in 甲賀が11月9日、サミットの部をサントピア水口で、実演の部を水口スポーツの森多目的グラウンドでそれぞれ開催され、約3,000人が来場しました。

このサミットでは、全国のお祭りなどで伝統花火の披露や保存活動を行う14の団体が集結し、互いの活動の報告や手筒花火や仕掛け花火などを実演。市内からは甲賀手筒花火保存会が参加し、毎年矢川神社七夕祭で奉納される手筒花火や、忍者の狼煙と伝えられる「瀬古の流星」が披露されました。

夜の闇の中で勇ましくかけ声とともに勇壮な花火が吹き上がり、訪れた観客からは大きな歓声と拍手が湧きおこっていました。



▲手筒花火を披露する甲賀手筒花火保存会の皆さん

元気なまちかど

3つの区が手を取り地域づくり

3区すてー

英語で収穫祭の意味を持つ「サンクスデイ」をもじったこの企画では、参加者がスタンプリングで3区を回り、各区のコスモス畑や国宝の仏像また物産展といった名物を楽しみました。

地域の名物のほか、大久保区では、区在住のペルー出身の住民らによる同国の肉料理や、伝統の踊りなどが披露され、地域内での文化交流も行われました。

住民の一人は「3区がお互いの持ち味を活かして、地域の元気を皆さんに届けたい。外国人の方も同じ地域住民なので、手を取り合って一緒に地域を作っていきたい」と話していました。



▲人だかりができたペルーの肉料理

古希を祝い旧交を温める

こうか盛人のつどい

今年で2回目の開催となるこうか盛人のつどいが11月10日、あいこうか市民ホールで開かれ、479人の皆さんが参加されました。

このつどいは、20歳の成人式から50年を経た古希を迎える皆さんの旧交を温める場として、またお互いの元気を認め合う場として、昨年からは市が実施しています。多くの経験や知識を築いてこられた皆さんが、一堂に会し、その知恵を地域のために役立て、元気に過ごしていただけるようにとの思いがこもっています。

この日は、女優の藤田弓子さんの講演が行われ、また同ホール内には百歳体操の体験コーナー、お茶席などが設けられ、訪れた人は「久しぶりに会った友人とゆっくり楽しめた」と、旧友との再会をよるこんでいました。



▲開幕を飾ったハンドベル演奏

仲間とまちづくりを学ぶ3か月

わいわい甲賀楽交講座

甲賀市のことを好きになり市のまちづくりについて学ぶ「わいわい甲賀楽交講座」の開講式が11月12日、市民福祉活動センターで行われ、12名が参加しました。

この講座は、市人材活性化実践研究事業の一環として開講されており、全7回が終了した「ぐるぐる甲賀発見講座」を更に発展させたもので、取り組みテーマごとに分かれたグループが事業を企画・立案します。来年2月中旬までに全7回実施されます。

開講式では、参加者が自分の興味のある分野などを紹介し「これからは楽しみ」と、まちづくりを学ぶ仲間との3か月間の夢を描いていました。



▲講師は滋賀県立大学の森川穂先生